

# 第13日 「性教育」を創る

## 助産師の行う性教育

10時～  
映像セミナー

日時: 2010年10月21日(木)  
13:00～18:20

会場: 岡山大学医学部保健学科棟  
3階 301大講義室

### プログラム

13:00～13:10 あいさつ

13:10～13:40

「性教育で何を話すのか？」

岡山大学大学院保健学研究科

中塚幹也

13:50～15:10

「助産師の行う性教育：助産師が行う意味」

NPO法人いのちの応援舎 ぽっこ助産院 理事長 山本文子

15:30～16:00

「デートDVを理解するために」(ロールプレイング)

解説 ウィメンズクリニック・かみむら 上村茂仁

16:20～17:50

「性教育を行う前に知っておいてほしい『今どきの子ども』」

ウィメンズクリニック・かみむら 上村茂仁

17:50～18:20

小テスト、自己評価

生殖医療サポーターの会OKAYAMA  
第36回定例会

2010年10月21日(木)  
19時30分～

岡山大学医学部保健学科棟  
2F 多目的室

「子宮頸がんワクチン」  
中塚幹也

岡山大学病院 産婦人科  
不育症専門外来  
岡山大学大学院保健学研究科

岡山大学COE

「妊娠中からの母子支援」即戦力育成プログラム

岡山大学大学院保健学研究科 育成プログラム事務局  
〒700-8558 岡山市北区鹿田町2-5-1

Phone & Fax:086-235-6538

E-mail:josan@cc.okayama-u.ac.jp

助産ネットURL: <http://www.okayama-u.ac.jp/user/josan/index>

## ■ 学校で接種「適切」4% 子宮頸がんワクチン、教諭に不安

昨年12月から国内で受けられるようになった子宮頸がんのワクチン接種について、岡山大チームが、全国の小児科医ら医療従事者や小学校などの養護教諭ら527人に実施したアンケートで、接種率向上につながるとされる学校での集団接種を「適切だ」とした養護教諭は4%にとどまったことが2日、分かった。

一方、医療従事者で適切だとしたのは45・1%。ワクチンの副作用は医療従事者の47・6%が不安を感じていたが、養護教諭では85・4%と、いずれも大きな差が出た。

子宮頸がんは多くが性交渉でウイルス感染するため、10代前半にワクチン接種して予防することが望ましいとされるが、費用が高額などの理由で普及が進んでいない。

チームの中塚幹也教授は「副作用が起きた場合の対応や、保護者への説明に不安を感じる養護教諭が多いのではないかと。医療従事者が説明を担うなど、学校現場の負担を軽くすることが大切」と指摘。厚生労働省は集団接種や国による公費助成について検討しているが、学校現場での課題の一つが明らかになった。

(共同通信社)